学校法人 盛岡幼稚園 内丸学園
園報
第244号
（3月）
2018

年長児のアプローチカリキュラム

認定こども園・盛岡幼稚園　理事長　坂本　洋

桃の節句を迎える時節になりました。厳寒の大雪寒波もいつしか和らぎ春の兆しです。年長児は、小学校入学をワクワクした期待感もあり、自信に満ちた言動が多くみられるようになっております。3歳児の入園時を思い浮かべるとずいぶん成長した姿が見られます。

先日、久々に年長児の午後の保育室を見学してきました。自由遊びで教師を中心に数字遊びに夢中でした。幼稚園での数への関心を高める遊びは色々あります。サイコロ・すごろく遊びやトランプゲーム等を含め数字カード遊びですが、この日の遊びは、教師手作りのサイコロ目と数字の書いたものを使い2グループに分かれての競争ゲームとして楽しんでました。（当園伝統のカード遊びです）年長児になれば、数を言える・数唱は殆どできますが、数の大小、量とか数と数字の対応を実感するまでに至ってないようです。ですから数の大小や数量を体験しながら、数の概念を遊びを通して楽しくスムースに身に付けていくことが小学校就学前までに大事なことです。通常的には、5歳児位から数の概念を獲得していくと言われますから、数に慣れ親しむ場面を利用し実際の遊びを通した体験で試行錯誤し迷ったり、悩んだりしながら身につくもので、先ずは「5」までの構成分解理解が大事とされます。「5」は1と4，2と3，4と1，3と2で構成されることに親しむことが始まりです。前記の年長児の遊びは、サイコロの目ですから、「6」の構成分解での数の概念理解です。このような遊び環境を用意することが教師の役割です。このような数の概念理解が進むと、続いて数の等分、「半分は2等分というのよ」とか、数の対応に継続していくのが理想です。

しかし、数ばかりではなく、言葉を獲得する領域もカリキュラムとして重要で、覚えたばかりの文字や言葉を使い、クイズやしりとり遊び等で言葉のやり取りや面白さを実感しながら言葉を習得していきます。例えば、最近目にする子ども達の遊び、言葉の仲間集め「最初にあのつくもの」や果物の名前や動物の名前を順番に答えたり、逆さ言葉遊びもよくやってます。「りんご」⇓「ごんり」。このような遊びは語彙数を増やすだけでなく思考力アップにもなります。

さて、幼児教育は環境を通して行うことですが、その環境とは、そこに活動する教師や友達のかかわりを含めた全ての状況で、子ども自身が主体的に行う遊びを通して総合的な指導を行うことが、「遊びを通した学び」と定義されます。教師の役割である必要な環境構成とは、子ども達が今どんなことに興味や関心を持ってるか、あるいは持たせなければいけないかを見抜き、声をかけたり、材料を提供したり、場の設定をしたりして、子ども達が自ら意欲をもって環境にかかわれるようにすることです。

当園の年長児の第2学期、小学校への接続を念頭に入れたアプローチカリキュラムの一端をご紹介しました。

当園伝統カード遊び！

卒業おめでとう

卒業おめでとう！

Aクラス担任　竹岡　真美

いよいよAクラスのみんなが幼稚園を旅立つ時がやってきました。卒業おめでとうございます。

今年のAクラス29名は、いつも元気で明るく、素直な子ども達で、初めての活動やいろいろな行事にも前向きに取り組む姿が印象的でした。また、盛岡幼稚園創立百十周年という節目の年のAクラスとして活躍の場がたくさんあり、その度にみんなで力を合わせて頑張る姿を見せてくれました。子ども達と毎日一緒に過ごす中で、その一生懸命な姿や、日々成長していく姿を担任として近くで見られたことは本当に嬉しく、幸せに思います。

卒業式で歌う旅立ちの歌『もうすぐりっぱないちねんせい』の中に『でもだいじょうぶ　でもだいじょうぶ　ほらもうすぐりっぱないちねんせい』という歌詞があります。その歌詞を自信たっぷりに元気に歌うみんな。その声を聞くと、春からも大丈夫！と思わせてくれます。4月からそれぞれの小学校に分かれて新しい生活がスタートしますが、幼稚園でのたくさんの思い出と大きくなった自信を胸に頑張ってほしいと思います。みんなのこと、ずっと応援しています。

最後になりましたが、子ども達の園生活をいつも温かく見守り、支えてくださった保護者の皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

卒業おめでとう！

進級おめでとう

友だちとの遊びから

Bクラス担任　舟越　恵子

憧れのピンクバッジへ、そして新しい友だちも加わり34名でスタートした4月。大好きな制作遊びでは、「これ、作ってちょうだい」から「ここまで、できたけど、手伝って！」、そして「自分でできたよ！」と、少しずつ成長していった子ども達。自分だけの遊びから友だちと一緒にルールを守って遊びを楽しむことができるようになりました。

鬼ごっこでは、その場で子どもなりに遊びのルールを決めて楽しんだり、カルタ遊びでは、トランプの神経衰弱が混ざったような新ルールでの遊びを楽しんだり、お家ごっこ、海賊ごっこ等『ごっこ遊び』では、遊びに必要な物を空き箱や新聞紙で作って遊びに取り入れたり・・・小さなアイディア、子どものちょっとしたつぶやきによって、日々遊びのイメージが広がり、変化していく様子は毎日が驚きの連続でした。

楽しいこと、み～つけた！

Cクラス担任　田口　千聖

2月の保育参観日の劇遊びでは、自分でやりたい役を決め、劇に必要な道具を作ったり、色を塗ったりし、役になりきって「サルとカニ」に取り組みました。みんなで一つの物を作り上げる経験、そしてイベント参加等、一つひとつの経験を積み重ねることにより、子ども達は心も体も大きく成長できたと思います。

もうすぐAクラス！様々なことに挑戦しながら、友だちとたくさん遊び、子ども達が成長することを願っております。

「踊りが大好きなCクラスにしたいです！」と、懇談会でお話しした日から早一年。宣言通り、春から様々なダンスを楽しんだCクラスの子ども達♪十一月の誕生会ではホールのステージで〝どんぐりマン〟に変身し、みんなに披露しました。またご家庭では、お兄ちゃんがのぼせるほど、お風呂場で何度もダンスを見せていた子も

いたようです（笑）

Cクラスは、2歳児クラスから進級した子、他の園から転園した子、初めてお家の人と離れて集団生活をする子、と様々な環境から集まりました。入園当初は慣れない環境に泣いていた子ども達も、先生と手をつなぎ、少しずつやりたい遊びを見つけられるように…。そして、楽しい曲に合わせてお友達が踊り出すと、自然と笑顔になったり、一緒に動き出したりする姿がたくさん見られました。

〝楽しい〟ことはどんどん広がって、一人ひとりの安定につながっていくことを実感した一年でした。

今年度から、Cクラスの保育室が2階へと移動し、ホールで思い切り体を動かす機会を多く持つことができました。また、年長児の遊びを真似たり、仲間に入れてもらう中で、たくさんの〝楽しい〟を見つけていました。

色々なことが自分でできるようになったこの一年☆進級へ向けて期待いっぱいです！保護者の皆様のご理解とご協力に感謝致します。

「できた!!」がいっぱい。

いちごクラス　瀧山　茉保

新しい先生や環境に緊張した表情の子どもが多かった四月から、早くも一年が経とうとしています。

子ども達は何かになりきって遊ぶ「ごっこ遊び」が大好きです。自分のなりたいキャラクターになりきって友達同士で会話をしたり、ブロックや画用紙を使ってそのキャラクターが身に付けているものを先生と一緒に作ったりしながら、楽しんでいます。好きな遊びを見つけて楽しんだり、友達との簡単な言葉のやり取りの中で、上手くやり取りが出来たりできなかったりをたくさん経験しています。そこから、友達と一緒にいたい気持ちが大きくなり、先生との関りから友達との関りにもつながっています。一緒の空間で遊ぶことを楽しむ姿が多くなっていることに子どもたちの成長を感じています。

身の回りのことにも自分から挑戦しようとする様子がたくさんあります。特にお昼寝前のパジャマに着替える時間です。パジャマを自分で畳んだりボタンを掛けたりと自分でやりたい気持ちを持ちながら何度もやってみようとする姿はとても微笑ましいです。子ども達の自分でできた達成感や喜びを一緒に感じられることに、私自身とても嬉しく思っています。

今後も、園生活の中で様々な経験をしながら成長する姿を楽しみに、見守っていきたいと思います。

参観を終えて　保護者より

幼稚園での素敵な社会

いちごクラス保護者　高橋　由美（承太郎）

ふたば組へ入園した当時、つかまり立ちだった息子。3歳になった今は、お友達とヒーローごっこをしたり、ステージで劇ごっこを披露してくれたり、あっという間に成長したような気がします。

幼稚園は家族と違う「社会」を初めて経験し、人との関わり方、ルールを学ぶ大切な場です。

息子はお友達や先生が大好きで「これ、見せてあげるんだ！」と言って自宅で描いた絵などを手に持ち、張り切って通園しているところを見ると、幼稚園で「素敵な社会」を築く事ができているのだな、と感じます。

お迎えの時間に、息子がお友達、先生と3人で向かい合い、なにやら話合い（？）している場面を見かけることがあります。揉め事があったのであろう子供達に、真剣に向き合ってくださる先生の姿を拝見し「私も子供とまっすぐに向き合おう」と思っています。

参観日では、いつもの甘えん坊はどこへやら。先生のお話をしっかり聞いている姿を見て、頼もしく成長したのだと驚きつつ、日々の先生方の御指導があってこそだと感謝の気持ちでいっぱいです。

新しいお友達が増え、新しい生活リズムになるCクラス。新しい環境の中で、素敵な社会をもっと広げていってほしいです。

保育参観・劇ごっこ（おべんとうバス）

進級おめでとう

Bクラス保護者　舘澤　睦子（賢太）

盛岡幼稚園に、満3歳クラスからお世話になっております。早いもので、もう3年が経とうとしています。思い返せば色んな事がありました。

一番大きな思い出は、幼稚園に預けて間もない頃の「おしっこしない事件」です。朝起きてトイレに行っておしっこをしてから、幼稚園でおしっこをしないという事がありました。今となっては笑い話ですが、当時は7～8時間もおしっこをしないなんて、病気にでもなるのではないか？環境を変えた事がいけなかったのか？毎日不安でした。そんな状態が1ヶ月続きましたが、担任の先生に「大丈夫、慣れればおしっこしますから心配しなくていいですよ。お任せ下さい」と言って頂き本当に心強かったです。毎日、優しく温かく見守っていただき、息子も先生が大好きでした。ある日迎えに行くと、先生がうれしそうに「賢太くんがおもらししました」と教えて下さり、二人で手を取り合い喜んだのを今でも鮮明に覚えています。トイレでしなくても、おしっこをしてくれた事が、なによりうれしかったです。あれから3年。出来なかった事ができるようになり、友達とケンカしたり仲直りしたり、毎日元気に幼稚園で過ごせる事、感謝の気持ちでいっぱいです。

「明日も幼稚園ある？」

Cクラス保護者　太野　美恵（愛互）

昨春、Cクラス入園当初、教室まで一人で行く事がちょっと不安で「お母さんも一緒に来て」と言っていた息子。今では玄関で早々に上ばきに履き替え「行ってきます。」と振り返る事なく教室へ向う毎日となりました。夕方、少し早めのお迎えに行くと「早すぎ!!明日はゆっくり来て!!」と言われる事もしばしばあり。または帰宅後すぐ「明日も幼稚園ある？」の問に「土曜日だからお休みだよ」と答えると残念そうに「明日も～くんと○○遊びをする約束してるのに。お休みの日がなければ毎日幼稚園で遊べるのになぁ」と素直な言葉に成長を感じ嬉しく思います。

夜ねる前の日課となっている〝今日の幼稚園に登園したお友達当てクイズ〟（息子が考えた赤バッチ黄色バッチのお友達全員の名前を答えるクイズ）息子にお友達の名前を教えてもらいながらマスターし、先日の保育参観の時にお友達の名前とお顔が一致でき、園での様子、お友達との関りが充実したものと間近で感じ感謝しております。創立110周年おめでとうございます。記念すべき年に在園させて頂き光栄です。タイムカプセル20年後のお友達、先生方とお会いできる事を楽しみにしております。

Bクラス 劇“サルとカニ”

編集後記

「光陰矢の如し」・・ということわざがあるように、あっという間の一年でした。創立百十周年という節目の年ということで今年度は様々な取り組みが行われ、先日は全園児が揃ってホールに集い、思い出のタイムカプセルの封印式を行いました。カプセルの中には二十年後のお子さんにあてた保護者の皆様からの大切なメッセージもお預かりしました。今から二十年後のお子さんをどのように想像し思いを馳せながら書いたのでしょう～成人を迎えた子ども達がそれぞれの場において、しっかりと根を張って成長している姿を想像しながら、いつまでも見守っていきたいと思います。今年度もたくさんの方々にご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。

学校法人　内丸学園
幼保連携型認定こども園
盛　岡　幼　稚　園
〒〇二〇―〇〇二一
盛岡市中央通一―六―四七
TEL六二二―二三〇一
理事長　坂　本　　洋